

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2022年5月度）

- 参加手続きが完了しているISP（インターネット・サービス・プロバイダ）は**70社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**1,564件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**1,025件**の対象を検知しISPへ通知。

NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

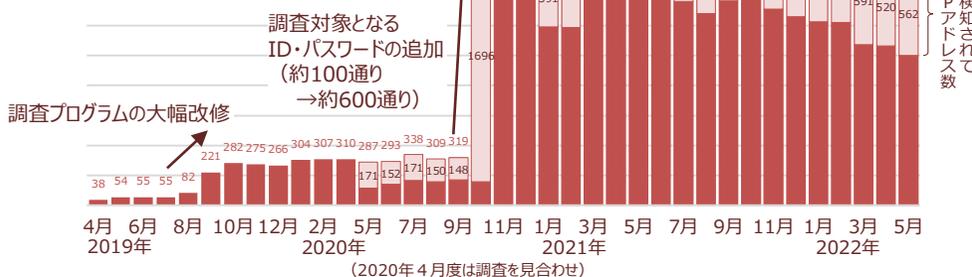
1,564件（4月度:1,585件）

（参考）2019年度からの累積件数：39,226件
ID・パスワードが入力可能だったもの：9.9万件

*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）

増加要因：調査プログラムの改修や
調査対象アドレスの拡大等

減少要因：ISPによる注意喚起により
利用者が対策実施



前月度に検知され
ていないIP
アドレス数

NICTER注意喚起※の取組結果

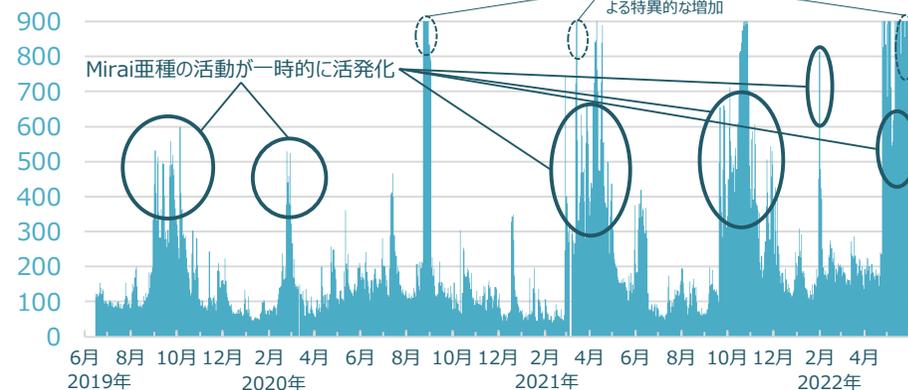
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均1,025件（4月度:376件）

（参考）期間全体での値：1日平均247件
最小：40件(2021/2/10)／最大：3,227件(2020/8/24)

**）NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



✓ NICTER注意喚起における2022年5月の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、IPアドレスの頻繁な切り替わりの発生と国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。